

平成22年度 伊勢地域公共交通会議 第2回 議事要旨

■ 開催概要

日時：平成22年9月3日（金）10:30～

場所：伊勢市役所 東庁舎 4-2 会議室

出席者：全16名

学識経験者 1名（中部大学教授）

市民代表 3名

一般乗合旅客自動車運行事業者

1名（三重交通伊勢営業所所長代理）

一般旅客自動車運行事業者

1名（三重県旅客自動車協会伊勢支部長代理）

一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車運転者が組織する団体

1名（三重交通労働組合執行委員長代理）

中部運輸局三重運輸支局

1名（首席運輸企画専門官）

三重県伊勢警察署 1名（交通第一課長代理）

三重県 1名（三重県政策部交通政策室長代理）

伊勢市 2名（市長・都市整備部長）

事務局 4名（伊勢市都市整備部交通政策課）

■ 議事内容

1. 平成23年度のコミュニティバスの運行について

事務局より、平成23年度のコミュニティバス運行に向けた検討について、資料を用いて説明。

【デマンド運行について】

デマンドタクシーと一般のタクシーの違いは何なのか。また、市町村合併から5年が経過し、実践も重ねてきたので、新しい交通手段についても、思い切ってやるべき。（市民代表）

⇒デマンドタクシーについては、今までのバス車両の代わりにタクシー車両を用い、利用者には乗車する際に電話にて予約を行ってもらうこととなる。そのため、予約のあったルート間のみを運行することとなり、誰も予約がなければ、車両は走らないこととなる。そのため、空車で運行することが無くなる。

利用料金については、今後決めていきたいと考えている。（事務局）

現状のバス運行については、利用者がいてもいなくても運行しているが、デマンド形式になれば、利用者からの予約により運行を行うため、利用のない便については運行しなくてよいため、コストダウンとなる。また、使用車両については、バスでもタクシーでもよいと思うが、大きいもの

(バス) を動かすより、小さいもの(タクシー) を動かした方が、経費を抑えられるのでは。
(三重県旅客自動車協会伊勢支部長代理)

デマンドタクシーを導入した場合、どれくらいの経費減になるのか把握しているのか。(市民代表)

⇒本来であれば、今日お示しすべきであるが、詳細なところまで経費が出ていない。ただ、現在よりは安くする方向で考えており、安くする方向で進めている。数字をお示しできないのは申し訳ない。
(事務局)

資料にもあるように、利用者1人あたりの税金投入額が出ており、額の大きいところを小さくしたいというのが目的であるが、どれくらいまで小さくすれば妥当かという議論をしておいたほうがよい。また、ルートによって特性があるので、全部のルート一律でなく、ルート毎での設定金額が必要である。(学識経験者)

現在のバスルートでも、ジャンボタクシー型の車両で運行すれば、コストも下がり、狭い道へも入って行けるのでは。(市民代表)

デマンド方式を導入するのと、今のままの運行では、どれくらい経費が違うのか。経費的に変わらないのであれば、今のままの運行でよいと思う。(市民代表)

⇒デマンドの運行方法としては色々あり、今後事務局と協議していくことになると思うが、運行しなくてよい便も出てくるため、一定の経費は削減ができる。(三重県旅客自動車協会伊勢支部長代理)

⇒一度、実際にシミュレーションをしてみて、他市町村の事例も参考にしながら参考となる資料を事務局のほうで作成してみては。(議長)

⇒今後、タクシー協会等と協議し、資料を作成していく。(事務局)

公共交通、特にバス型というのは、「ルート」「ダイヤ」「バス停」が決められており、3つの条件のどれかを外すことを専門用語で「パラトランジット」と言う。すべての条件がゆるいのが一般のタクシーであり、その中間にはいろいろの方法がある。(学識経験者)

ある程度、決まった停留所、決まった時間の設定がないと、利用しにくい。利用者にもある程度の制約は必要である。多気町が2年前からデマンド方式を導入しているので、一度調べてみては。
(三重運輸支局)

⇒事務局で、一度多気町へ訪問し、話は聞いてきたが、この会議でお見せする資料としては作成していないので、また資料を提供させていただきたい。(事務局)

タクシーとの差別化をしっかりとしておく必要があると思う。ある程度の不便さは残しつつ、市民や利用者に納得してもらえることは必要。(市民代表)

【運休日の設定について】

土日祝日の運休を検討しているが、全ルートということか、それとも個別のルートということか。
(議長)

⇒効率的なことで考えると、全ルートでの運休を考えたい。利用目的の一番の理由が通院であるため、日曜日の運休については実現が可能であると考えている。また、買い物利用についても土日限定する必要がないと考えるのであれば、その方向も考えていきたい。ただし、数字については、申し訳ないが、まだお示しできる資料が出来ていない。(事務局)

利用者アンケートの結果では、24%の利用者が、運休されると困ると答えている。また、土日でも買い物に利用しているという結果もあるので、そういった利用のある時間帯については運休にすべきではない。(三重交通労働組合執行委員長代理)

運休という形ではなく、土日用のダイヤを別に設定することはできないのか。(市民代表)

⇒経費の面では、全便運休のほうが効果はあるが、例えば「鹿海・朝熊ルート」などは通学バスのような要因が大きく、土日を運休にするとか、また、通院目的の利用が多いルートについては、日祝日を運休にするなど、各ルートの特性があるので、検討の余地はある。(事務局)

【広告協賛について】

広告協賛については、短期間での契約も可能だということなので、もう少し新たな協賛の方法も可能であると思う。(市民代表)

デマンドの検討については、前向きに検討を進めていくこと、運休日の設定についても数字の提示をした上で、比較検討することで進めていくことが確認された。

また、調整がつけば、委員の有志にて、多気町へのデマンド運行の視察を行うことが確認された。